

一 般 質 問

平成31年 2月28日 (木)

10番 上村 賢 議員

1. 田岡市長の5期20年の市政運営について

- ①石狩市政のかじ取り役としての、20年間で振り返っての検証を伺う
- ②20年間の任期中になし得なかったと思われることがあれば伺う
- ③多くの山積する課題について、一つ一つを解決していくためには、職員の一体感・連帯感が重要と思われるが、引退するに当たり、今後、職員に期待することを伺う

2. ICTの活用について

- ①市は、CIO制度を創設し運用することにより、ICTの適切な管理や効果的な地域の情報化の展開、業務の効率化など情報システムの全体最適化をトップダウンで進められている。HPのリニューアル、WebGISの改善、SNSの導入など一定の成果は評価をしていますが、昨年の災害を受けてICTを活用した情報発信および情報収集など、まだまだ柔軟かつスピーディーに情報化を進めることが急務と思えるが、市の考えを伺う
- ②オープンデータへの取り組みは、どのような状況なのか伺う
- ③ICT技術を活用し、質の高い行政サービスの提供と業務の効率化を目指すために、RPAの導入を推進すべきと考えるが、市の考えを伺う

3. あそびーち石狩のユニバーサル化について

- ①1997年(平成9年)茨城県大洗ビーチでユニバーサルビーチの取り組みが始まり、2017年(平成29年)車椅子でも海が楽しめるユニバーサルビーチが神戸須磨海岸に誕生した。近年あそびーち石狩の入込数は減少が大きく、平成30年のあそびーち石狩の入込数は90,600人まで減少をしている。そこで、あそびーち石狩も、障がいを持っている方やお年寄り、小さなお子さんをお持ちの親御さんなど、みんなが気軽に安心して海水浴を楽しんでもらえるユニバーサルデザインのビーチ整備が必要と考えるが、市の考えを伺う

4. 給食の残食について

- ①平成27年、当時の第1・2給食センターからは、年間約83トンの残食が出ていた。平成29年度より新給食センターの稼働が始まり、より質の良い給食が子供達に提供されていることと思われませんが、新給食センター稼働後の残食の状況を伺う
- ②新給食センターは、学校から回収した残食を中間処理システムで粉碎、脱水を行い、密度を大幅に減量した残渣をリサイクル業者に引き渡す事から、ほぼ全量を堆肥化できるようになる見込みとの答弁でしたが、新給食センター稼働後のリサイクルの状況とそのリサイクルに掛かる経費の状況を伺う

5. 未病対策について

- ①未病とは病気と言うほどでもないけれど、健康でもない状態のことを言う。この段階で病気の芽を摘むことで、病気自体を防ぐことが可能になる。未病の改善のカギは、食事と睡眠と運動と言われている。65歳以上の人口が約30%近くを占める超高齢化少子化社会を迎え、医療費や介護費が増加する中、病気になる前の未病対策を推進する事が重要と考えるが、市の考えを伺う

6. 東京オリンピックの取り組みについて

- ①平成31年度も主要政策案において、東京オリンピックに向けて取り組みが行われますが、平成31年度の取り組みに関しての成果を出すために、どのような取り組みを行っていくのか伺う。また、その取り組みを市民や関係者の関心参加を促すトリガー事業から地域の課題解決や活性化を進めるレガシー事業に展開し、オリンピック終了後に具体的な成果を遺す取り組みを進めるべきと考えますが、市の考えを伺う

1 番 加 納 洋 明 議 員

1. 新年度予算について

- ①市長の新年度予算の認識について
②防災対策に対する、予算の反映の考え方

2. 消防団の強化について

- ①装備充実の補助制度の取り組みについて
②石狩市の消防団の現状と今後の取り組み

3. 防災無線の個別受信機の導入について

- ①防災無線の個別受信機の導入について
②市としての現状の取り組みについて

4. 肺炎球菌ワクチンの接種率の向上

- ①現在までの石狩市の取り組みと対象者数と接種率について
②延長になった今後5年間の具体的な取り組み

5. 食品ロス削減について

- ①平成28年第3回定例会の質問の取り組み状況について
②フードドライブの取り組みについて
③各種会合での食べ残し食品の持ち帰りについて

6 番 長 原 徳 治 議 員

1. 消費税増税及び新年度予算と財政運営について

- ①消費税率の引き上げについての見解について
- ②新年度予算に織り込んだ市長の思いは何か
- ③民生費（扶助費）の構成割合を増やせないか、特に高齢者福祉費の拡充を検討すべきではないか
- ④石狩市財政運営指針と各種財政指標の状況について
- ⑤平成30年度決算見込みと繰り越しはどの程度の見通しか

2. 新年度に於ける教育行政の方針は

- ①学校教育の取り組み方は
- ②石狩市教員の働き方改革方針について
- ③生涯学習の更なる充実の方策は何か

3. 国民健康保険税率の改定について

- ①国保制度の理念と市民の担税力の認識について

4. 水道事業及び下水道事業について

- ①水道法改定でのコンセッション方式導入についての見解は
- ②上水道事業の現状と今後の見通しについて
高料金対策費・石狩西部広域水道企業団負担金等の取り扱いを含めて伺う
- ③下水道事業の現状と今後の見通しについて

5. 米艦船の石狩湾新港への寄港について

- ①経緯と対応について
- ②市長の見解はいかがか

6. 今後のまちづくりの方向とそれを支える人材育成について

- ①大きな時代の転換期を迎えている中で、石狩市が目指すべき方向性は何か、また市民力の向上や子どもの育成、市職員等多様な人材育成が大切な課題と思うが、今後の基本的な考え方を伺う

16番 青山 祐幸 議員

1. 市長退任について

- ①5期20年、市長としての感想及びやり残したと思っていることがあれば
- ②選挙で後任市長が決まるのが5月19日。市長の任期は6月26日までであり、1カ月以上の時間がある。この間、当然、市長の職務に当たるがどのようなスタンスで市政に臨むのか

- ③選挙後の政策予算等重要案件は新市長が招集する議会で審議することになるが、政策予算の編成議会での審議に時間がかかる。特に外注する事業はかなりずれ込むと考えるが対策は如何に

2. 道の駅経営について

- ①春から本格営業を再開する道の駅石狩「あいろーど厚田」運営会社は次期シーズンからテナントに対しテナント料のほか、売り上げに対しても一定の比率で徴収しようとしているが、2年目で早くも契約以上の負担を求めるのはいかがなものか

3. 小学校卒業式のはおり、はかまについて

- ①現状はどうか、特に女子児童の着用比率はどうか
- ②保護者の負担、着用できない子供の気持ちはどうお考えか
- ③学校、PTA、教育委員会で自粛の方向に向け話し合うつもりはないか

9番 片平 一義 議員

1. アイヌ新法成立・本市での取り進め方について

- ①新法成立と本市での取り進め方と今後の予算の位置付けについて
- ②本市のアイヌの方々の歴史的検証について

2. 働き方改革関連法案法成立と本市職員の働き方改革について

- ①長時間労働是正に向け、適正な人員配置、計画的人材確保に向けた、市の取り組みについて
- ②メンタルヘルスなど職員の健康状態の把握のための市の取り組みと、特段配慮が認められる職員に対する対応について

3. 放課後児童クラブの利用支援について

- ①市外の民営放課後児童クラブを利用する家庭に対して、利用料の負担軽減を図るための助成の考え方について

4. 災害発生時の市の対策強化について

- ①避難場所の運営について

5. 「おくやみ」コーナーの開設について

- ①死亡時に伴う様々な手続きを総合的に案内し、一つの窓口で完了するコーナーを新設する考え方について